



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月14日

上場会社名 株式会社ココナラ 上場取引所 東
 コード番号 4176 URL <https://coconala.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 鈴木 歩
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 松本 成一郎 TEL 03(6712)7771
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	3,356	20.4	△220	—	△262	—	△166	—
2022年8月期第3四半期	2,787	—	△392	—	△390	—	△382	—

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 △254百万円 (—%) 2022年8月期第3四半期 △384百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	△7.03	—
2022年8月期第3四半期	△16.52	—

(注) 1. 2023年8月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	4,893	3,001	37.8
2022年8月期	4,327	2,437	45.9

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 1,847百万円 2022年8月期 1,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	0.00	—		
2023年8月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	19.9	△220	—	△260	—	△150	—	△6.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2023年8月期の連結業績予想につきましては、本日（2023年7月14日）公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）—、除外 一社 （社名）—

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	23,801,100株	2022年8月期	23,546,600株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	—株	2022年8月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	23,720,284株	2022年8月期3Q	23,127,305株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社の事業環境は、行動制限の解除により新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことで、在宅時間が短縮されオンラインでの取引全体の成長率が鈍化するなど、先行きの不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社におきましては、プロダクト機能開発に注力する一方、マスメディア等を通じたユーザー層の取り込みを強く推進するべく、2023年5月より日本全国を対象としたTVCMを実施しております。また、2023年4月よりChatGPTの文章自動生成機能を利用し、出品者の「サービス内容」をより効果的に表現する「AIアシスタント機能(β)」を導入しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の流通高は10,871,254千円（前年同四半期比17.2%増）、営業収益は3,356,906千円（前年同四半期比20.4%増）、営業損失は220,914千円（前年同四半期は392,418千円の営業損失）、経常損失は262,522千円（前年同四半期は390,865千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は166,674千円（前年同四半期は382,087千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社は当第2四半期決算よりITフリーランスと企業の業務委託案件をつなぐ「ココナラエージェント」を開始しておりますが、当第3四半期決算より流通高の定義は「ココナラ」と「ココナラエージェント」合算したものと変更いたしました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ココナラ

「ココナラ」においては、2023年5月よりTVCMを実施することで、積極的なマーケティング投資による購入者の登録数の拡大を図っております。

この結果、営業収益は2,971,344千円（前年同四半期比18.1%増）、セグメント損失は234,023千円（前年同四半期は383,182千円のセグメント損失）となりました。

② ココナラ法律相談

「ココナラ法律相談」においては、ユーザーと弁護士のマッチング精度・量ともに順調であることから有料登録弁護士数が拡大しており、これを背景として弁護士からの広告収入である固定の利用料も成長しております。

この結果、営業収益は385,561千円（前年同四半期比41.9%増）、セグメント利益は36,327千円（前年同四半期は2,504千円のセグメント損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末より566,122千円増加し、4,893,521千円となりました。

これは主に投資有価証券が251,571千円増加し、現金及び預金が184,439千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末より2,782千円増加し、1,892,514千円となりました。

これは主にTVCM関連費用等にかかる支払により未払金が137,210千円減少、未払消費税等が53,017千円増加、預り金が37,162千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末より563,339千円増加し、3,001,006千円となりました。

これは主に利益剰余金が166,674千円減少したものの、非支配株主持分が636,740千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関する事項につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,050,945	3,235,385
売掛金	333,364	342,796
前払費用	105,655	132,266
その他	88,408	82,404
流動資産合計	3,578,372	3,792,853
固定資産		
有形固定資産		
建物	102,682	171,070
工具、器具及び備品	82,865	97,382
減価償却累計額	△70,924	△76,263
有形固定資産合計	114,623	192,190
無形固定資産		
ソフトウェア	10,674	9,018
無形固定資産合計	10,674	9,018
投資その他の資産		
差入保証金	179,876	210,665
長期前払費用	20,936	13,987
投資有価証券	419,090	670,662
その他	3,823	4,143
投資その他の資産合計	623,727	899,459
固定資産合計	749,025	1,100,667
資産合計	4,327,398	4,893,521
負債の部		
流動負債		
未払金	443,471	306,261
未払費用	23,454	41,480
未払法人税等	2,287	16,869
未払消費税等	-	53,017
前受金	487,936	500,854
預り金	922,567	959,729
ポイント引当金	3,502	6,485
クーポン引当金	6,513	7,816
流動負債合計	1,889,731	1,892,514
負債合計	1,889,731	1,892,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,221,560	1,235,002
資本剰余金	2,366,763	2,380,656
利益剰余金	△1,601,139	△1,767,813
株主資本合計	1,987,184	1,847,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	96
その他の包括利益累計額合計	94	96
新株予約権	12,500	78,436
非支配株主持分	437,888	1,074,628
純資産合計	2,437,666	3,001,006
負債純資産合計	4,327,398	4,893,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
営業収益	2,787,846	3,356,906
営業費用	3,180,264	3,577,820
営業損失(△)	△392,418	△220,914
営業外収益		
受取利息	14	14
受取還付金	1,587	7,681
その他	130	426
営業外収益合計	1,732	8,121
営業外費用		
支払利息	179	149
投資有価証券評価損	-	49,500
その他	-	80
営業外費用合計	179	49,729
経常損失(△)	△390,865	△262,522
特別利益		
新株予約権戻入益	4,500	12,500
特別利益合計	4,500	12,500
税金等調整前四半期純損失(△)	△386,365	△250,022
法人税、住民税及び事業税	1,719	4,896
四半期純損失(△)	△388,085	△254,919
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,997	△88,244
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△382,087	△166,674

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年9月1日 至 2022年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2023年5月31日）
四半期純損失（△）	△388,085	△254,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,844	440
その他の包括利益合計	3,844	440
四半期包括利益	△384,241	△254,479
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△381,963	△166,671
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,277	△87,807

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年9月1日 至 2022年5月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他（注1）	合計（注2）
	ココナラ	ココナラ 法律相談	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる収益	2,516,145	271,700	2,787,846	—	2,787,846
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への営業収益	2,516,145	271,700	2,787,846	—	2,787,846
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,516,145	271,700	2,787,846	—	2,787,846
セグメント損失（△）	△383,182	△2,504	△385,687	△6,730	△392,418

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。

2. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年9月1日 至 2023年5月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他（注1）	合計（注2）
	ココナラ	ココナラ 法律相談	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる収益	2,971,344	385,561	3,356,906	—	3,356,906
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への営業収益	2,971,344	385,561	3,356,906	—	3,356,906
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,971,344	385,561	3,356,906	—	3,356,906
セグメント利益又は損失（△）	△234,023	36,327	△197,695	△23,218	△220,914

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失と一致しております。

（重要な後発事象）

（取得による企業結合）

当社は、2023年6月30日開催の取締役会において、ポートエンジニアリング株式会社の発行済株式の全部を取得し子会社化することを決議し、2023年6月30日付けで株式譲渡契約を締結しました。また、2023年7月3日付で株式を取得したことにより子会社化しました。

1. 企業結合の概要

（1）被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 ポートエンジニアリング株式会社

事業の内容 フリーランス支援事業

（2）企業結合を行った主な理由

当社グループのITフリーランスと企業の業務委託案件をつなぐココナラエージェントの事業拡大を早期に実現し、当社の企業価値の最大化に資すると判断いたしました。当社のマーケティングノウハウの活用や、両社の顧客基盤の拡大等、協業関係によりITフリーランスエンジニアのネットワークを拡大していくことを目指しております。

（3）企業結合日

2023年7月3日

（4）企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

（5）結合後企業の名称

変更ありません。

（6）取得した議決権比率

100%

（7）取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とした株式取得により、議決権の100%を取得したためであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金及び預金 250百万円

取得原価 250百万円

3. 主な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等（概算額） 4百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産および引き受ける負債の額ならびにその主な内訳

現時点では確定しておりません。